



マアジ 太平洋系群

主な漁業と漁期

定置網: 周年
まき網: 周年
棒受け網: 周年

生態

マアジは日本各地に分布し、内湾や瀬に定着する瀬付き魚群と沖合いを回遊する魚群があります。前者は体色が黄色がかった体高が高く、キアジと呼ばれ、後者は黒みがかった流線形でクロアジと呼ばれることがあります。

●産卵場・産卵期

東シナ海と太平洋沿岸域で産卵する群れがあり、東シナ海では2~4月、太平洋沿岸域では5月以降に産卵が行われます。

●食性

仔稚魚は動物プランクトン(甲殻類)を主餌料としますが、成長に伴い魚食性が強くなり、成魚ではイワシ類、オキアミ類、イカ類などを主に捕食します。摂餌は明け方と日没時に活発になります。

●成長・成熟

寿命は5歳とされていますが、20歳以上の個体も確認されています。資源水準によって成長は異なりますが、1歳で尾叉長18cm、2歳で尾叉長24cm程度に成長します。近年では1歳で50%、2歳以上で全てが成熟します。

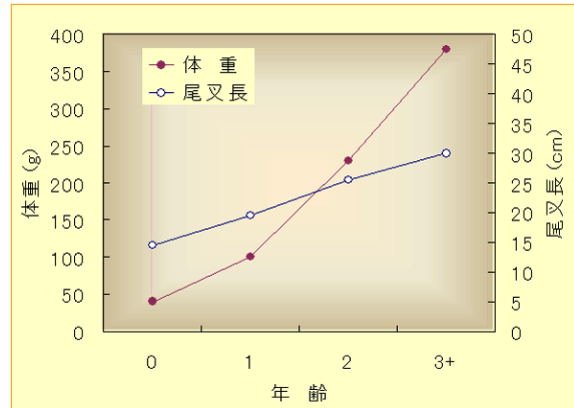
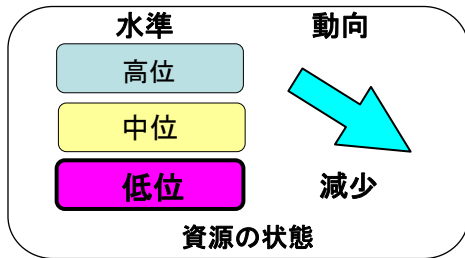


図 年齢と成長 ((国研)水産研究・教育機構資料)

漁業・資源動向

【資源】

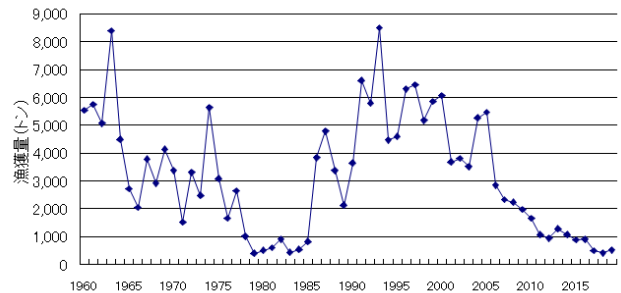


- 1 太平洋系群の資源量は1996年の16万トンを頂点に減少傾向にあり、2018年の資源量は4.3万トンで低位、資源動向は減少と評価されています。
- 2 2018年の親魚量はBlimit(それ未満では良好な加入が期待できない資源量または産卵親魚量)を下回ったことから、親魚量をBlimit以上に増大することを目標とした管理方策が提案されています。

国の資源評価へのリンクはこちら
 ダイジェスト版
http://abchan.job.affrc.go.jp/digests2019/html/2019_03.html
 詳細版
<http://abchan.job.affrc.go.jp/digests2019/details/201903.pdf>

【漁業】

- 1 静岡県では主に定置網やまき網で漁獲されています。
- 2 県内の漁獲量は1980年代に1,000トン以下となった後に増加傾向に転じ、1993年には8,500トンとなりました。
- 3 その後、再び減少傾向となり、近年は1,000トンを下回る低調な漁獲となっています。
- 4 漁獲物の年齢構成は0,1歳魚が主体となっています。



静岡県のマアジ水揚量の推移

担当者の一言: 旬は初夏~夏。定置網等で漁獲された地物の美味しいマアジを刺身をフライでどうぞ!

問合せ先

静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場 0558-22-0835